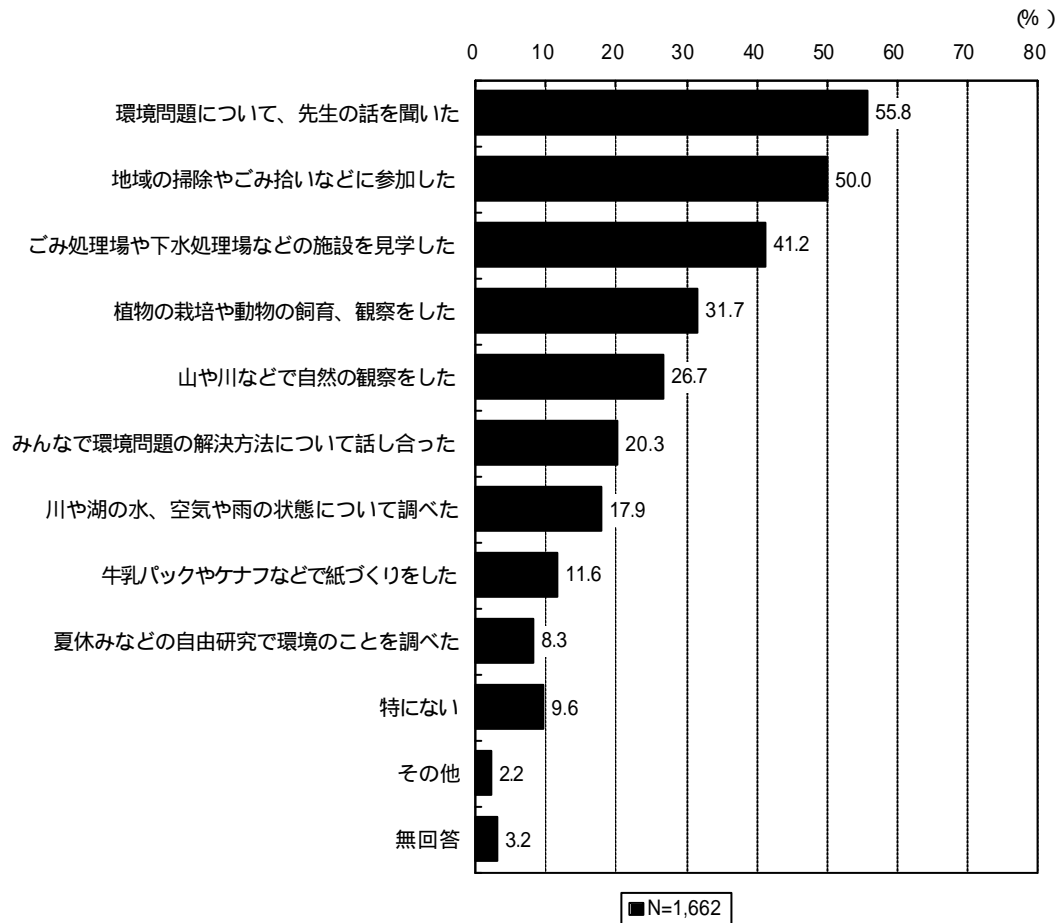


7. 学校における環境保全活動への参加経験（問10）

学校における環境保全活動への参加経験としては、「環境問題について、先生の話聞いた」(56%)、「地域の掃除やごみ拾いなどに参加した」(50%)が半数以上にのぼる。また、全般的に町村部での活動が活発で、町村部の参加経験率は「夏休みなどの自由研究で環境のことを調べた」以外いずれも他の都市規模を上回っている。

学校における環境保全活動への参加経験を尋ねたところ、最も参加経験率が高かったのは「環境問題について、先生の話聞いた」(56%)で、次いで「地域の掃除やごみ拾いなどに参加した」(50%)となった。これらに加え、「ごみ処理場や下水処理場などの施設を見学した」(41%)、「植物の栽培や動物の飼育、観察をした」(32%)、「山や川などで自然の観察をした」(27%)の経験率も3～4割と比較的多い。しかし、「みんなで環境問題の解決方法について話し合った」(20%)、「川や湖の水、空気や雨の状態について調べた」(18%)の経験率は2割前後、牛乳パックやケナフなどで紙づくりをした」(12%)、「夏休みなどの自由研究で環境のことを調べた」(8%)の経験率は1割前後と低くなっている。

【図表 7-1】学校における環境保全活動への参加経験（複数回答）(全体)



全般的に小学生の参加経験が中学生の参加経験を上回っているが、特に「環境問題について先生の話聞いた」「ごみ処理場や下水処理場などの施設を見学した」「直物の栽培や動物の飼育、観察をした」「山や川などで自然の観察をした」「みんなで環境問題の解決方法について話し合った」での差が大きく、これらの小学生の参加経験率は中学生よりも18～25ポイント高くなっている。

性別では「植物の栽培や動物の飼育、観察をした」の参加経験率が男子（29%）より女子（35%）で高くなっている。

都市規模別では町村部の参加経験率が全般的に高く「環境問題について、先生の話聞いた」（63%）、「地域の掃除やごみ拾いなどに参加した」（59%）が6割前後に達するなど、「夏休みなどの自由研究で環境のことを調べた」以外はいずれも他の都市規模を上回っている。

【図表 7-2】学校における環境保全活動への参加経験（複数回答）（学齢別、性別、都市規模別）

	全 体	学齢別		性別		都市規模別			
		小 学 生	中 学 生	男 子	女 子	政 令 指 定 都 市	1 0 万 人 以 上	1 0 万 人 未 満	町 村
調査数	1,662	755	907	881	772	299	538	341	484
環境問題について、先生の話聞いた	55.8	64.8	48.3	52.9	59.2	54.8	53.7	49.3	63.2
地域の掃除やごみ拾いなどに参加した	50.0	55.2	45.6	49.1	51.3	41.8	49.8	44.9	58.9
ごみ処理場や下水処理場などの施設を見学した	41.2	54.8	29.9	40.1	42.6	33.1	41.1	35.8	50.2
植物の栽培や動物の飼育、観察をした	31.7	44.1	21.4	29.2	34.8	25.8	29.7	27.3	40.7
山や川などで自然の観察をした	26.7	37.1	18.1	26.3	27.1	26.4	19.9	24.6	36.0
みんなで環境問題の解決方法について話し合った	20.3	29.9	12.3	19.0	22.0	16.1	20.1	8.8	31.4
川や湖の水、空気や雨の状態について調べた	17.9	24.6	12.2	16.8	19.0	14.4	13.8	11.4	29.1
牛乳パックやケナフなどで紙づくりをした	11.6	9.7	13.1	10.3	12.7	11.7	11.7	8.8	13.2
夏休みなどの自由研究で環境のことを調べた	8.3	7.9	8.6	10.1	6.2	9.4	8.2	7.3	8.5
特にない	9.6	3.4	14.7	11.1	7.9	13.4	11.0	11.4	4.3
その他	2.2	1.7	2.5	2.4	1.8	2.7	2.0	1.5	2.5
無回答	3.2	1.3	4.9	3.7	2.7	6.0	3.0	3.5	1.7